

研究室紹介

田淵研究室

「人は真剣に生きようとする時に悩むものだ」と言われるように、研究室の選択で学生の皆さんは、きっと迷ったり悩んだりしたことでしょうね。社会科学教育の田淵研究室では、所属学生が研究テーマで悩み続けています。それは、確固とした研究テーマがないからです。教員である田淵自身、今でも研究テーマが揺れ動いています。



映画『男はつらいよ』の「フーテンの寅さん」の言う「風の吹くまま」のような状況です。けれども、最近では、「マイノリティーの人々と共に生きる社会はどうあればよいのか」とか「国際化した社会における社会の見方や考え方はどうあればよいのか」というような研究テーマで卒業論文や修士論文を書く学生や院生が多いようです。また、田淵の研究テーマも「世界遺産を通しての国際理解教育」にシフトしつつあります。

研究方法は、文献だけでなく、マイノリティーの当事者へのインタビュー調査や現地に出掛けてのフィールドワークを重視しています。

2006年度、学部学生は3回生が2名、4回生が2名、大学院生が5名です。在日コリアンのライフヒストリーを聞き取った卒業論文、世界遺産教育でイランに行った院生、在日ブラジル人児童・生徒の教育問題を取り上げている院生など、研究テーマも多様です。

留学生も、中国とブラジルから来ており、2007年度には、北京の高等学校の先生も教員研修留学生として加わります。また、研究室のコンパに留学生にも声かけをしています。その意味で、「国際的」な雰囲気のある研究室と言えるでしょう。

記事：社会科学教育講座 教授 田淵五十生

クラブ紹介

女子ソフトボール部

わたしたち女子ソフトボール部は、人数が少ないながらも、元気にグラウンドで練習しています！今は春リーグ2部昇格に向けて、練習に励んでいます。冬の練習は寒いし、体力トレーニングはちょっとしんどいけど、そんなのへっちゃらさ(o^_^)bだって…女子ソフトボール部だもん(笑)部員みんなの明るさがしんどさなんて吹っ飛ばしてくれることでしょう！！



1~4年生みんなで旅行に行ったりもして、部活外でも楽しいです！

今の部員は大学からソフトボールを始めた子が多く、ソフトボールのことが全然わからなくても心配はいらないです。ソフトボールに、奈教女子ソフトボール部に、少しでも興味があるなら、ぜひ一度見学へお越し下さい!!プレイヤーだけでなく、マネージャー、コーチ、サポーター…になりたい方、男女問わず誰でも大歓迎です!!

さあ!!一緒に青空の下ボールを追いかけましょう!グラウンドの真ん中で叫びましょう!では、今すぐグラウンドへ!!女子ソフトボール部があなたをお待ちしています☆

ではまたグラウンドで会いましょう!!

練習

月・木(16時30分~)、土(9時30分~)
奈教グラウンドでやっています。

記事：女子ソフトボール部 2回 米澤 佳代

国際学生宿舎懇談会

~地域交流ひろがる~

平成19年1月16日(火)18:30から奈良教育大学国際学生宿舎において国際学生宿舎の懇談会が開催されました。



この懇談会は、普段からお世話になっているご近所の方々や留学生チューター及び寮生との懇談及び寮生同士の交流のため設けられました。

今回の懇談会で特筆すべきは、寮に在住している留学生が、有志で出身国の料理を調理し、懇談会の席上に次々と振る舞われ、所狭しと並べられました。そして出席者は各国の味を舌鼓を打ちつつ、近所の方々、寮生等が親しく交歓しておりました。また、国際学生宿舎の前身の桜寮のOBが寮歌を披露され、寮の歴史について話題に上りました。そして参加者は時間を忘れ、歓談されました。



これにより、寮の近所の方々、教職員、留学生チューター、橋寮生及び国際学生宿舎の寮生等の交流を持つことができ、今後、寮の枠を超えた地域交流の推進が期待されます。

国際学生宿舎とは

奈良教育大学の男子学生と外国人留学生に勉学と居住の場を提供し、教育研究と国際交流の促進のため平成5年度に桜寮を廃止し設営されました。

『日本留学事情』

本学在学中の留学生に日常生活で感じたことを書いていただきました。

日本の留学体験

SAMUEL Remi Loane
(フランス)

私が初めて日本に留学した時は高校生の時でした。その一年間はホームステイで普通の日本の高校に通学していたから、私は本当に日本人のように生活することができました。でも今回はやはり違います。違うと言いました。が今も日本人のような生活が出来ないわけではありません、今は寮で、やはり日本人のような生活をしていると言えます。



第一に、今は一人暮らしだから。ホームステイと一人暮らしを比べてどっちがいいと聞かれたら、どちらにもいい面と悪い面があると思います。ホームステイのいい面は帰ったらいつも誰かが待っていると、いつも日本語の勉強になるとか、そしてもちろんご飯を作る必要がないとか…。でもホームステイの問題は他人の家に住んでいるのでいろんなことに気をつけないといけないことです。例えば夜に出かけたらちゃんとホストファミリーに聞かないといけないし、何時までに帰らなければいけないかは自分で決められないし、などという問題もあります。

第二に、初めての日本留学は東京でした。みんな東京と奈良の違いをだいたい知っていると思いますから説明はしなくてもいいでしょう。言葉だけでも少し違いますから。

第三に今は大学生です。日本に来る前にも知っていたけど日本の高校と大学は本当に違います。高校の方が厳しいです。

最後の違いは、初めてこんなに色々な国の人々と話せます。こんなに楽しくなっていると思っていなかったです。最初、私はアジアの中で日本だけに限るほうがいいと思っていたけど、奈良に来て色々なアジアの留学生と話して、何ていたか私は間違えていた感じがしています。

そして勿論色々な新しい経験も出来ました。初めて能を見て四国にも行って、そして勿論新しい友達も出来ました。